

第 20 回 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 議事録**■ 概要**

平成 23 年 5 月、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の早期実現に向け、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市の 4 者が一体となって取り組む体制として、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議を設立。

今回（第 20 回）の会議では、平成 29 年度の事業報告、平成 30 年度の事業計画案が諮られ、承認された。

■ 会議要旨**1. 開会（会長 代理出席 新井 大阪府副知事挨拶）**

百舌鳥・古市古墳群については、昨年 7 月の、世界文化遺産推薦候補への選定、そして、本年 1 月の閣議了解、ユネスコへの推薦書提出など、平成 29 年度は、「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録に向け、大きな一歩を踏み出すことができた 1 年となった。現在、すでにユネスコ世界遺産委員会の諮問機関、イコモスによる審査が開始されており、本年 9 月ごろには、登録実現に向けた鍵となる大変重要な現地調査が予定されている。

イコモスによる審査は、年々厳しさを増していると、聞いており、地元といたしましても、百舌鳥・古市古墳群の価値を十分に伝え、登録にふさわしいとのイコモス勧告がなされるよう、万全の準備をしていかなければならない。平成 31 年の世界文化遺産登録が実現できるよう、みなさまとともに一丸となり、頑張っていきたい。

2. 議事（本部長の竹山 堺市長が議事を進行）**〔議題 1〕平成 29 年度事業報告について**

- ・資料「議題 1－①」「議題 1－②」に沿って事務局が説明。

〔議題 2〕平成 30 年度事業計画について

- ・資料「議題 2－①」「議題 2－②」に沿って事務局が説明。

〔議題 1、2 質疑〕

特になし。

* 議題 1、2 について了承。

〔その他 委員からの発言〕

（竹山 堺市長）

- ・従来の文化庁のみでなく、外務省とも連携する必要があるため、外務省の要請により 4 月より職員を一人派遣する。
- ・国内推薦の選定を受けて、陵墓の静安と尊厳を守りながら、地元の機運の醸成も大事である。昨日も、大仙公園内におもてなしトイレを設置したところ。今後も大阪府、羽曳野市、藤井寺市と一緒に取組みを進め、国内外の方に来ていただきおもてなしを感じていただきたい。

(國下 藤井寺市長)

- ・ 史跡古市古墳群の古室山古墳などの用地購入、津堂城山古墳の遊歩道整備を実施した。

以上